再生プラスチックの食品用途に関する安全性確認の歴史

平成24年3月現在

年次		プラスチックの自主規制、厚生科学研究（日本）	PETボトル・トレイの歴史	再生プラスチックの法規制（欧米及び日本）
1973	昭和 48	ポリオレフィン等衛生協議会発足、9月	米国でPETボトル特許成立	
1974	49		米国で初めてPETボトルが炭酸飲料に採用	
1975	50	ポリ衛協・確認証明制度スタート、10月（未使用樹脂の原則）		
1976	51			
1977	52		日本で初めてPETボトルがしょうゆ容器に採用	
1978	53			
1979	54		PETボトルが洗剤容器に採用	
1980	55			
1981	56		PET樹脂の共押出技術の開発（多層フィルム・シート）	
1982	57		清涼飲料用PETボトル認可される（食品衛生法） PETボトル協議会設立（ボトルリサイクルが目的） APETシート・CPETトレイの開発スタート	
1983	58		飲料ボトル使用開始 ボトルリサイクルシステム(米国市場)の調査開始	
1984	59			
1985	60	昭和60～62年度厚生科学研究（高温での安全性）		
1986	61		PETトレイ協議会設立（衛生安全性確保が目的）	
1987	62			
1988	63		3層構造の再生PET食品容器の開発	
1989	64		APETトレイが和菓子容器に採用	
1990	平成 2		（エフピコ社PSPトレイ回収開始、9月） APETシート製造装置の開発（脱乾燥方式）	FDAがNOL第1号を発行（ドルコ社、PS），2月
1991	3		（エフピコ社再生トレイエコマーク取得、11月）	FDAが化学的再生法PETにNOL発行、1月 FDAが物理的再生法PETにNOL発行、4月
1992	4		PETボトルリサイクル事業組合設立 PETボトル用自主設計ガイドライン（飲料、しょうゆ）が公認される	FDAが再生プラスチックのガイダンスを公表、5月
1993	5	ポリ衛協・再生プラスチック懇談会発足、1月	最初のボトル再生工場　試運転開始（WPR） PETボトルリサイクル推進協議会設立 PETボトルに識別マーク表示（法律による規制）	米国食品・プラスチック業界が再生ガイドラインを発表、1月 FDA閾値規則を告示、意見公募へ
1994	6	ポリ衛協・再生プラスチック懇談会中間報告発表、7月	再生PET製缶ビールトレイ開発 再生PET製果物パック開発	FDAがCPT社3層ボトルにNOLを発行、5月
1995	7	ポリ衛協・再生プラ懇、再生プラ確認試験の実施	容器包装リサイクル法制定、6月	FDA閾値規則が発効、8月 FDAが日本企業に最初のNOLを発行（PSトレイ）、7月 ドイツBfRが再使用・再生プラスチックの食品容器に関する見解を発表、6月
1996	8	平成7年度厚生科学研究報告書（再生プラ）公表、4月 ポリ衛協・再生プラスチック懇談会最終報告書発表、6月	（財）日本容器包装リサイクル協会設立 本格的ボトル再生事業会社設立（YPR）	
1997	9		容器包装リサイクル法施行（PETボトル・ガラス容器）	スイスで<ボトルからボトル>がスタート（3層・バージンバリア）
			YPRボトル再生工場、運転開始	
1998	10	ポリ衛協・再生プラ懇試験報告書完成、9月	NPRボトル再生工場、運転開始 ボトルからシート・トレイへの再利用が本格化	国際生命科学研究所（欧州）が食品包材リサイクルに関するガイドラインを発表、5月
1999	11		HPRボトル再生工場、運転開始 容器包装リサイクル法施行（特定PETボトル以外のプラスチック）	FDAがスーパークリーンPET（米国）にNOLを発行
2000	12	平成12年度厚生科学研究（再生PETの安全性確認試験）	TPRボトル再生工場、運転開始	
2001	13	平成13年度厚生科学研究（再生PETの日欧米の比較）	PETボトル用自主設計ガイドライン改定（着色ボトルの廃止）	FDAがスーパークリーンPET（欧州）にNOLを発行 ドイツBfRがPETボトルのリサイクルに関する推奨基準を発表
2002	14	平成14厚生労働科学研究（再生PETの米独欧の法制度比較）	使用済PETボトル回収率50%を超える **PETトレイ協議会自主規制基準（再生品）を制定** JIS K7390 再生PET成形材料の試験法　発行	スイスの＜ボトルからボトルへ＞は直接接触へ移行 FDAが化学的再生PET（日本企業2社）にNOLを発行 欧州委員会が再生プラスチックに関して指令草案を審議開始
2003	15	平成15年度厚生労働研究（再生PETに残存する不純物の調査）	最初の化学的再生PET工場稼動	厚労省、ボトルからトレイ（物理的再生法）の状況聴取
2004	16	食品安全委員会”化学的再生PETの安全性評価”を答申 厚生労働省”ボトルからボトルへ”を認可（帝人化成4月）（ペットリバース9月）	**PETトレイ協自主規制基準を厚労省に報告、検査について指導を受ける** ボトルからボトルの再利用がスタート、4月 JIS Z1716　無延伸PETフィルム・シートの標準規格　発行	
2005	17		**再生PETフレークの不純物検査を実施（トレイ協）**	
2007	19	乳容器にPET製容器が追加された(乳等省令)		EN規格　再生プラスチック試験法が樹脂ごとに制定された
2008	20		使用済PETボトル回収率78%に達した	再生プラスチックの食品接触での使用に関するEC指令、規則が批准され施行へ
2009	21	**厚労省食品安全部は再生プラスチックの使用実態調査をNRIに委託**	**PETトレイ協議会は厚労省食品安全部に自主規制基準と使用実態について報告**	
2010	22	**厚生労働省、再生プラスチック衛生指針の作成WGを設置した。**	再生プラスチック衛生指針策定WGに委員を派遣	ISO規格（再生PET、その試験法、無延伸PETシート）の最終案の承認へ
2011	23	**厚生労働省薬食審で再生プラスチックの規制方針が示された（8月）**		サントリー㈱物理的再生PETを飲料ボトルに使用することを発表（4月）
2012	24	**厚生労働省薬食審で再生プラ衛生指針を審議（3月）**		キリンビールも物理的再生PETを飲料ボトルに使用することを発表（1月）